

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツヘルスプローション分野

科目区分		条件又は科目名等	修得単位数
学術院共通専門基盤科目		必修(スポーツウエルネス学方法論)	1
専門科目(必修)	分野共通	必修	2
専門科目(必修)	所属分野共通	必修	1
専門科目(選択)	所属分野共通	選択必修	1
専門科目(選択)	所属分野所属領域	選択必修	11～
専門科目(選択)	所属分野隣接領域		
専門科目	他分野	講義科目選択必修	2～
専門科目(関連)	所属分野共通	選択必修	6～
修了単位数			30

(修了要件)

2年以上在学し、本学位プログラムで定める修了の要件として必要な授業科目の履修により30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文あるいは特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(注)教育上有益と認められる場合には、本学位プログラムの定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認める。

スポーツヘルスプロモーション分野

履修方法の詳細（令和7年度以降入学者）

1. 履修方法

- (1) 以下の学術院共通専門基盤科目 1 単位及び専門科目（必修） 2 単位の計 3 単位を必修とする。
 - ・スポーツウエルネス学方法論（学術院共通専門基盤科目） 1 単位
 - ・スポーツウエルネス学概論 2 単位
- (2) 以下の所属分野共通 専門科目（必修） 1 単位を必修とする。
 - ・スポーツヘルスプロモーション研究方法論Ⅰ 1 単位
- (3) 所属分野の専門科目（選択）から、領域共通科目スポーツヘルスプロモーション研究方法論Ⅱまたは、スポーツヘルスプロモーション研究方法論Ⅲの 1 単位、所属領域開設科目 9 単位及び隣接領域開設の講義科目 2 単位を中心に計 12 単位以上を履修する。〔備考〕欄参照のこと。
- (4) 研究主題に関連する他分野の領域開設の専門科目の講義科目から 2 単位以上、所属分野開設の専門科目（関連）から 6 単位以上の計 8 単位以上を履修する。
- (4) 大学院共通科目、他学位プログラム及び他研究群の開設科目を専門科目として履修することができる。
- (5) 単位互換制度に基づく他大学研究科の授業科目を専門科目として履修することができる。

〔備考〕

専門科目（選択）中の下記の(a)(b)を選択必修とする。

- (a) 分野内の下記の特講科目のうち 3 科目以上（所属領域内 2 科目、隣接領域内 1 科目）
 - スポーツマネジメント論特講
 - トップスポーツ論特講
 - 健康開発プログラム論特講
 - コミュニティメンタルヘルス論特講
- (b) 領域内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち 1 科目を選択必修とする。
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ（所属領域開設の、研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴを必修とする。）

2. 修了要件

上記の方法で 30 単位以上修得し、修士論文あるいは特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格すること。

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

科目区分		条件又は科目名等	修得単位数
学術院共通専門基盤科目		必修(スポーツ・ヘルスプロモーション方法論)	1
専門科目(必修)	分野共通	必修	2
専門科目(選択)	分野共通	選択必修	1
専門科目(選択)	所属分野所属領域	選択必修	11～30
専門科目(選択)	所属分野隣接領域		
専門科目(選択)	他分野	講義科目選択必修	4～
専門科目(関連)	分野共通	選択必修	4～
修了単位数			30

(修了要件)

2年以上在学し、本学位プログラムで定める修了の要件として必要な授業科目の履修により30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文あるいは特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(注)教育上有益と認められる場合には、本学位プログラムの定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認める。

履修方法の詳細（令和４年度以降入学者）

１．履修方法

- (1) 以下の学術院共通専門基盤科目 1 単位及び専門科目（必修） 3 単位の計 4 単位を必修とする。
 - ・ スポーツ・ヘルスプロモーション方法論（学術院共通専門基盤科目） 1 単位
 - ・ スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 2 単位
 - ・ スポーツ健康研究方法論Ⅰ 1 単位
- (2) 選択した分野の専門科目（選択）から、共通科目スポーツ健康研究方法論Ⅱまたは、スポーツ健康研究方法論Ⅲの 1 単位、所属領域開設科目 9 単位及び隣接領域開設の講義科目 2 単位を中心に計 12 単位以上を履修する。〔備考〕欄参照のこと。
- (3) 研究主題に関連する他分野の領域開設の専門科目（選択）の講義科目から 4 単位以上、両分野開設の専門科目（関連）から 4 単位以上の計 8 単位以上を履修する。
- (4) 大学院共通科目、他学位プログラム及び他研究群の開設科目を専門科目として履修することができる。
- (5) 単位互換制度に基づく他大学研究科の授業科目を専門科目として履修することができる。

〔備考〕

スポーツプロモーション分野選択者は、専門科目（選択）から下記の(a)(b)を選択必修とする。

- (a) コース内の下記の特講科目のうち 3 科目以上（所属領域内 2 科目、隣接領域内 1 科目）
 - スポーツプロモーション論特講
 - スポーツイベント論特講
 - スポーツマネジメント論特講
 - 高度競技マネジメント論特講
 - プロスポーツマネジメント論特講
- (b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち 1 科目を選択必修とする。
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ
 - スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ
 - スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ（所属領域開設の、研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴを必修とする。）

ヘルスプロモーション分野選択者は、専門科目（選択）中下記の(a)(b)を選択必修とする。

- (a) コース内の下記の特講科目のうち 3 科目以上（所属領域内 2 科目、隣接領域内 1 科目）
 - ヘルスプロモーション論特講
 - 健康開発プログラム論特講
 - ストレスマネジメントシステム論特講
 - コミュニティメンタルヘルス論特講
- (b) コース内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち 1 科目を選択必修とする。
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ
 - ストレスマネジメント研究方法論Ⅳ
 - ストレスマネジメント研究方法論Ⅴ（所属領域開設の、研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴを必修とする。）

２．修了要件

上記の方法で 30 単位以上修得し、修士論文あるいは特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格すること。

履修方法の詳細（令和 6 年度以降入学者）

1. 履修方法

- (1) 以下の学術院共通専門基盤科目 1 単位及び専門科目（必修） 3 単位の計 4 単位を必修とする。
 - ・スポーツ・ヘルスプロモーション方法論（学術院共通専門基盤科目） 1 単位
 - ・スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 2 単位
 - ・スポーツ健康研究方法論 I 1 単位
- (2) 分野共通の専門科目（選択）から、スポーツ健康研究方法論 II またはスポーツ健康研究方法論 III の 1 単位、選択した分野の専門科目（選択）から、開設科目 11 単位（講義科目 6 単位を含む）を中心に、計 12 単位以上を履修する。〔備考〕欄も参照のこと。
- (3) 研究主題に関連する他分野の領域開設の専門科目（選択）の講義科目から 4 単位以上、両分野開設の専門科目（関連）から 4 単位以上の計 8 単位以上を履修する。
- (4) 大学院共通科目、他学位プログラム及び他研究群の開設科目を専門科目として履修することができる。
- (5) 単位互換制度に基づく他大学研究科の授業科目を専門科目として履修することができる。

〔備考〕

スポーツプロモーション分野選択者は、専門科目（選択）から下記の (a) (b) を選択必修とする。

- (a) コース内の下記の特講科目のうち 3 科目以上
 - スポーツプロモーション論特講
 - スポーツイベント論特講
 - スポーツマネジメント論特講
 - 高度競技マネジメント論特講
 - プロスポーツマネジメント論特講(所属領域開設の特講 1 科目以上を必須とする)
- (b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴうち 1 科目を選択必修とする。
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ
 - スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ
 - スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ
 - スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ(所属領域開設の、研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴを必修とする。)

ヘルスプロモーション分野選択者は、専門科目（選択）中下記の (a) (b) を選択必修とする。

- (a) コース内の下記の特講科目のうち 3 科目以上（所属領域内 2 科目、隣接領域内 1 科目）
 - ヘルスプロモーション論特講
 - 健康開発プログラム論特講
 - ストレスマネジメントシステム論特講
 - コミュニティメンタルヘルス論特講
- (b) コース内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち 1 科目を選択必修とする。
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ
 - ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ
 - ストレスマネジメント研究方法論Ⅳ
 - ストレスマネジメント研究方法論Ⅴ(所属領域開設の、研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴを必修とする。)

2. 修了要件

上記の方法で 30 単位以上修得し、修士論文あるいは特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格すること。

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツウエルネスマネジメント分野

科目区分		条件又は科目名等	修得単位数
学術院共通専門基盤科目		必修(スポーツウエルネス学方法論)	1
専門科目(必修)	分野共通	必修	2
専門科目(必修)	・研究デザイン科目群	必修	6
	・スポーツウエルネスマネジメントコア科目群	必修	5
	・スポーツマネジメント科目群	必修	3
	・ウエルネスマネジメント科目群	必修	3
	・実習	必修	2
専門科目(選択)	・スポーツウエルネスマネジメント科目群	選択	2～
専門科目	他分野	講義科目選択必修	6～
専門科目(関連)	所属分野共通	選択必修	
修了単位数			30

(修了要件)

2年以上在学し、スポーツウエルネス学学位プログラムで定める修士の要件として必要な授業科目の履修により30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、特定課題研究報告書あるいは修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

(注)教育上有益と認められる場合には、本学位プログラムの定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認める。

スポーツウエルネスマネジメント分野

履修方法の詳細（令和7年度以降入学者）

1. 履修方法

- (1) 以下の学術院共通専門基盤科目 1 単位及び分野共通専門科目（必修） 2 単位の計 3 単位を必修とする。
 - ・スポーツウエルネス学方法論（学術院共通専門基盤科目） 1 単位
 - ・スポーツウエルネス学概論 2 単位
- (2) 以下の所属分野の専門科目（必修） 19 単位を必修とする。
 - ・研究デザイン科目群（4 科目） 6 単位
 - ・スポーツウエルネスマネジメントコア科目群（5 科目） 5 単位
 - ・スポーツマネジメント科目群（2 科目） 3 単位
 - ・ウエルネスマネジメント科目群（2 科目） 3 単位
 - ・実習（2 回） 2 単位
- (3) 以下の所属分野の専門科目（選択）から計 2 単位以上を履修する。
 - ・スポーツスポーツウエルネスマネジメント群（2 科目）
- (4) 研究主題に関連し他分野が開設する専門科目の講義科目から 6 単位以上を履修する。
- (5) 大学院共通科目、他学位プログラム及び他研究群の開設科目を専門科目として履修することができる。
- (6) 単位互換制度に基づく他大学研究科の授業科目を専門科目として履修することができる。

2. 修了要件

2 年以上在学し、上記の方法で 30 単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、特定課題研究報告書あるいは修士論文の審査及び最終試験に合格すること。